

事業計画書目次

[文化観光局]

4款 1項 2目

(単位：千円)

計画書頁	事業名	令和4年度		令和3年度		増△減(4-3)		新規・拡充
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債	
1	創造界限形成事業	299,167	264,455	720,252	695,607	△ 421,085	△ 431,152	
2	アーツコミッション事業	71,100	47,600	73,371	57,371	△ 2,271	△ 9,771	
3	創造的イルミネーション事業	388,000	300,000	300,000	200,000	88,000	100,000	○
4	映像文化都市づくり推進事業	18,519	3,191	23,317	7,778	△ 4,798	△ 4,587	
5	創造都市市民連携事業	2,000	2,000	4,000	4,000	△ 2,000	△ 2,000	
6	創造都市推進事業費	1,038	1,038	1,221	1,221	△ 183	△ 183	
7	芸術文化教育プログラム推進事業	34,940	34,940	33,940	33,940	1,000	1,000	
8	地域文化サポート事業	33,000	33,000	30,000	30,000	3,000	3,000	
9	クラシック・ヨコハマ推進事業	9,000	9,000	8,200	8,200	800	800	
10	ミュージック・マスター・コース・ジャパン推進事業	6,000	6,000	20,000	20,000	△ 14,000	△ 14,000	
11	芸術文化支援事業	57,900	57,900	127,900	127,900	△ 70,000	△ 70,000	
12	フランス映画祭支援事業	25,000	25,000	30,000	30,000	△ 5,000	△ 5,000	
13	文化施設運営事業	3,746,073	3,730,532	2,994,495	2,964,959	751,578	765,573	
14	横浜美術館大規模改修事業	6,295,301	6,295,301	840,108	840,108	5,455,193	5,455,193	
15	横浜みなとみらいホール大規模改修事業	3,266,391	3,214,042	3,847,551	3,833,361	△ 581,160	△ 619,319	
16	文化施設整備事業	1,502,923	1,330,923	1,710,753	1,043,580	△ 207,830	287,343	
17	横浜文化賞事業	4,179	4,179	4,613	4,613	△ 434	△ 434	
18	美術資料収集事業	5,030	0	5,030	0	0	0	
19	地域創造助成事業費	1,000	0	1,000	0	0	0	
20	指定管理者制度運営費	2,473	2,473	4,751	4,751	△ 2,278	△ 2,278	
21	文化振興企画調査費	2,379	2,379	2,800	2,800	△ 421	△ 421	
	ヨコハマ・パラトリエンナーレ事業	0	0	10,000	0	△ 10,000	0	
	創造的ビジネス事業	0	0	10,000	10,000	△ 10,000	△ 10,000	
	芸術文化振興財団補助金	0	0	6,885	6,885	△ 6,885	△ 6,885	
	計	15,771,413	15,363,953	10,810,187	9,927,074	4,968,111	5,443,764	

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	創造都市推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
歳出予算科目	一般会計	4 款	1 項	2 目			
事業名称	創造限界形成事業						

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	299,167	0	0	34,712		264,455
補助事業 単独事業						0
令和3年度	720,252	0	0	24,645		695,607
増△減	△ 421,085	0	0	10,067	0	△ 431,152

歳出	平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	事業費	310,676			322,110			337,482			319,167			229,167			229,167	
市債+一般財源	286,479			297,689			312,837			284,455			194,455			194,455		
決算	299,913			315,171			352,292											
市債+一般財源	275,716			290,750			327,639											

事業概要	関内・関外地区をはじめとする都心臨海部の歴史的建造物や公共空間（道路・公園・水辺）等を活用し、アーティスト・クリエイターが創造性を発揮することにより、まちの賑わいづくりを進めます。創造限界拠点では、これらの活動を先駆的に進めます。							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	方針決裁：平成18年6月 旧老松会館、平成19年3月 初黄・日ノ出町地区、平成20年6月 象の鼻テラス、平成20年12月 旧第一銀行横浜支店、平成25年3月 旧関東財務局、平成29年12月 文化芸術創造発信拠点							
事業目的・効果 (必要性)	<p>本事業は、横浜の最大の強みである「港を囲む独自の歴史や文化」を活用し、芸術や文化のもつ「創造性」を生かして、都市の新しい価値や魅力を生み出す都市づくりを「文化芸術創造都市横浜」の施策に基づき推進しています。</p> <p>その一環として、都心臨海部の歴史的建造物や公共空間等の有効活用、違法特殊飲食店が建ち並んでいた初黄・日ノ出町地区における環境浄化に向けたまちづくりなどを通じ、創造限界を形成します。</p> <p>なお、創造限界拠点の運営については、毎年横浜市創造限界形成推進委員会による評価や助言を受け、次年度以降の事業に反映していきます。</p> <p>《創造限界拠点》</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧第一銀行横浜支店 旧老松会館 初黄・日ノ出町地区（地域再生まちづくり） 象の鼻テラス THE BAYS（旧関東財務局） BankART1929（文化芸術創造発信拠点） 							
根拠・データ等	<p>令和2年度利用実績数</p> <p>ヨコハマ創造都市センターBankART Temporary（旧第一銀行横浜支店）来館者数：23,250人、急な坂スタジオ（旧老松会館）利用団体数：84団体、初黄・日ノ出町地区 黄金町パザール来場者数：30,840人、象の鼻テラス来館者数：237,383人、THE BAYSショップ来店者数：7,424人、BankART1929来場者数：29,728人</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
創造限界拠点の運営	単位	目標	6	6	5	6	6	6
	拠点	実績	6	6				
事業スケジュール	<p>平成16年1月 『文化芸術都市-クリエイティブシティ-横浜の形成に向けた提言』（文化芸術・観光振興による都心部活性化委員会）</p> <p>平成16年3月～18年3月 歴史的建造物等の文化芸術活用実験事業（16年3月～旧第一銀行横浜支店等の活用）</p> <p>平成18年 「都心部歴史的建造物等活用事業補助金交付要綱」制定（現「創造限界形成事業補助金交付要綱」）</p> <p>旧関東財務局等、急な坂スタジオ（旧老松会館）運営開始</p> <p>初黄・日ノ出町地区高架下スタジオ運営開始</p> <p>平成20年 象の鼻テラス、ヨコハマ創造都市センター（旧第一銀行横浜支店）の運営開始</p> <p>平成22年 「地域再生街づくり事業（初黄・日ノ出町地区）補助金交付要綱」制定</p> <p>平成29年 THE BAYS（旧関東財務局）運営開始</p> <p>平成31年 BankART1929（文化芸術創造発信拠点）運営開始</p> <p>令和3年 旧第一銀行横浜支店特定天井脱落対策工事</p> <p>令和3年 旧老松会館、旧第一銀行横浜支店次期運営団体公募</p> <p>令和4年 旧老松会館、旧第一銀行横浜支店次期運営団体による運営開始</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	創造限界拠点運営	270,336	278,067	▲ 7,731
②	旧第一銀行 計画修繕	28,831	31,060	▲ 2,229	修繕規模の変動による減
③	旧第一銀行 特定天井脱落対策工事	0	411,125	▲ 411,125	工事完了による減
④				0	
⑤				0	
	細事業合計	299,167	720,252	▲ 421,085	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	藤塚万里子	赤崎由香	江口浩平

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	創造都市推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	3
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	4 款	1 項	2 目		
事業名称	アーツコミッション事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	寄附金	市債	一般財源
令和4年度	71,100	22,500		1,000		47,600
補助事業 単独事業						0
令和3年度	73,371	15,000		1,000		57,371
増△減	△ 2,271	7,500	0	0	0	△ 9,771

歳出	平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計
予算	62,060	45,060	107,120	45,060	55,060	100,120	55,060	71,100	126,160	71,100	71,100	142,200	71,100	71,100	142,200	71,100	71,100	142,200
決算	59,989	44,890	104,879	44,890	52,972	97,862	52,972	47,600	100,572	47,600	47,600	95,200	47,600	47,600	95,200	47,600	47,600	95,200

事業概要
アーティスト・クリエイター、NPO、市民、企業、学校などの多様な創造の担い手が活動しやすい環境づくりを進め、文化芸術の持つ創造性を産業振興やまちづくりに生かすことで「文化芸術創造都市・横浜」としてのプレゼンスを高め、都心臨海部の活性化につなげていきます。

事業開始年度
平成19年度

根拠法令・方針決裁等
アーツコミッション・ヨコハマ補助金交付要綱

事業目的・効果 (必要性)

1 アーツコミッション事業
「文化芸術創造都市・横浜」を推進してきた結果、アーティスト・クリエイターなどの集積が進みましたが、多様な創造の担い手が活動を行っていくためには、活動支援やコーディネート等による中間支援の取組が必要となります。横浜市では、他自治体に先駆けて中間支援の取組を進めており、充実した支援体制があることにより、さらなる創造の担い手の集積が進み、文化芸術の進行だけでなく、産業振興やまちづくりなどにも広がり、都心臨海部の活性化が進むことが期待されます。

2 横浜国際舞台芸術ミーティング (YPAM) 推進事業
国内外の舞台芸術関係者によるプログラムの制作・発表・交流の場を創出させることで、横浜発の舞台芸術の発信や人材の集積・育成、街の賑わいづくり等に寄与します。

根拠・データ等

横浜に住むアーティスト・クリエイター数【国勢調査】
 ・ 美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者：平成22年 7,560人、平成27年 8,330人
 ・ 音楽家、舞台芸術家：平成22年 2,470人、平成27年 2,150人
 都心臨海部 (西区・中区) における主な創造産業従事者数【経済センサス：日本標準産業分類 (中分類) に基づく分類整理】
 ・ 建築設計：平成21年 1,545人、平成28年 2,969人
 ・ 工芸、美術・骨董品、生活文化：平成21年 1,414人、平成28年 1,918人
 ・ デザイン：平成21年 276人、平成28年 416人
 ・ 舞台芸術：平成21年 603人、平成28年 896人

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ワンストップ相談窓口受付数	単位	目標	150	150	150	150	150	150	150
	件	実績	162	135					
助成件数	単位	目標	10	10	10	7	7	7	7
	件	実績	11	11					
YPAM総来場者数	単位	目標	20,000	20,000	20,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	人	実績	31,302	17,345					

事業スケジュール

- 平成19年度：アーツコミッション・ヨコハマ開設
- 平成22年度：国際舞台芸術ミーティング in 横浜 (TPAM) 開催
- 令和2年度：文化芸術創造都市横浜・臨時相談センター「YES!」開設 (～令和3年度末)
- 令和3年度：国際舞台芸術ミーティング in 横浜 (TPAM) から横浜国際舞台芸術ミーティング (YPAM) へ名称変更

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引 (増減)	増減説明
	①	アーツコミッション事業	38,600	48,371	▲ 9,771
②	横浜国際舞台芸術ミーティング (YPAM) 推進事業	32,500	25,000	7,500	事業内容拡大に伴う国費活用の増
③				0	
④				0	
⑤				0	
⑥				0	
⑦				0	
細事業合計		71,100	73,371	▲ 2,271	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	田中 昌史	増田 修一	江口 浩平

令和 4年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	創造都市推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	4
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	2	目
事業名称	創造的イルミネーション事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	寄附金	市債	一般財源
令和4年度	388,000	85,000		3,000		300,000
補助事業 単独事業						0
令和3年度	300,000	100,000				200,000
増△減	88,000	△ 15,000	0	3,000	0	100,000

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	0	300,000	335,000	303,000	303,000	303,000
	市債+一般財源	0	300,000	235,000	200,000	200,000	200,000
決算	事業費	0	300,591	350,569			
	市債+一般財源	0	300,591	283,568			

事業概要	<p>コロナ禍のダメージから街の賑わいを取り戻し、ナイトタイムエコノミー活性化の契機となる観光コンテンツとして、都心臨海部全体を先端技術により光と音楽で演出し、横浜ならではの港の夜景を官民一体で創出するイベントを実施します。また、横浜が誇るウォーターフロントの新たな魅力づくりとして、安全安心に楽しめるナイトウォークルート「光の道計画」の整備に取り組みます。</p>							
事業開始年度	令和元年度							
根拠法令・方針決裁等								
事業目的・効果 (必要性)	<p>令和元年度より、昼も夜も滞在を楽しめる新たな魅力づくりの一環として、横浜らしさを感じる港やウォーターフロント等の都市景観を生かし、先端技術を活用するなど、他では体験できない横浜ならではの創造的な演出を行うイベントを実施しています。年度を追うごとに、横浜のランドマークとなる施設や、地域のイルミネーション等と連携して、光の演出エリアを拡大し、令和7年度を目途に、横浜オリジナルの光のイベントとして定着させ、官民一体となって、夜も楽しめる文化観光都市を目指します。</p> <p>また、コロナ禍からの社会経済活動の回復に向け、感染症対策を講じながら、地域のイルミネーションや店舗等との連携を進めることにより、街の回遊を促進し、ナイトタイムエコノミーの活性化に寄与します。</p> <p>さらに、横浜が誇るウォーターフロントの光環境を整備することで、夜の魅力的なウォーキングルート「光の道」を創出します。</p>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント来場者数 元年度55万人、2年度85万人、3年度131万人 (R4.1.6現在速報値) ・イベント経済波及効果 元年度約45億円、2年度約53億円、3年度55億円(目標) ・広告価値換算値 元年度約3億円、2年度約5億円、3年度約5億円(目標) ・光の演出参加施設数 元年度11施設、2年度20施設、3年度27施設 ・広報連携を行っている地域のイルミネーションイベント数 元年度25イベント、2年度21イベント、3年度25イベント 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
イベント来場者数	単位	目標	1,000,000	450,000	870,000	900,000	900,000	900,000
	人	実績	550,000	850,000				
イベント経済波及効果	単位	目標	10,600,000	3,500,000	5,500,000	5,700,000	5,700,000	5,700,000
	千円	実績	4,500,000	5,300,000				
光の演出参加施設	単位	目標	10	15	25	30	35	40
	施設	実績	11	20				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度：事業開始/イベントの実施(～令和6年度)/光の道計画現況調査 ・令和2・3年度：光の道計画基本計画策定 ・令和4～6年度：光の道計画整備 							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	創造的イルミネーション事業	388,000	300,000	88,000
②				0	
③				0	
④				0	
	細事業合計	388,000	300,000	88,000	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	長谷部 千晶	安藤 亜矢	大木 竜童

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	創造都市推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
歳出予算科目	会計	4	款	1	項	2	目
事業名称	映像文化都市づくり推進事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	18,519			15,328		3,191
補助事業 単独事業						0
令和3年度	23,317			15,539		7,778
増△減	△ 4,798	0	0	△ 211	0	△ 4,587

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	528,634	26,500	25,430	18,519	18,519	18,519
	市債+一般財源	512,886	100,538	9,723	3,191	3,191	3,191
決算	事業費	527,206	25,476	275,494			
	市債+一般財源	511,458	9,515	259,787			

事業概要	本市が誘致した東京藝術大学大学院映像研究科が校舎として使用する映像文化施設（旧富士銀行横浜支店／万国橋会議センター／元町・中華街）の維持管理・修繕及び施設等を活用した地域貢献事業を実施し、映像文化の地域の浸透を図るとともに、創造的な活動を担う人材育成を行います。							
事業開始年度	平成17年度							
根拠法令・方針決裁等	東京藝術大学と横浜市との連携・協力に関する包括協定書（H27.10.1）							
事業目的・効果 (必要性)	国内唯一の国立総合芸術大学である東京藝術大学（大学院映像研究科）が本市の映像文化施設を校舎として使用し、映画、メディア映像、アニメーションといった様々な映像分野の研究を重ねることで、映像分野において、世界で活躍する人材が育成されます。また、その専門知識・技術を生かして幅広い世代を対象とした地域貢献事業を行うことで、映像文化の地域への浸透が図られることと、特に若年層（小学生～高校生）に対するコンテンツを実施することで、映像文化への関心を高め、創造的活動を担う次世代の人材育成に繋がることが期待されます。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ○校舎概要 馬車道校舎（※旧富士銀行横浜支店）、万国橋校舎、元町中華街校舎（※旧中区健診・予防接種センター） ○映像研究科概要 映画専攻（定員32名）、メディア映像専攻（定員16名）、アニメーション専攻（定員16名） ○地域貢献事業概要 公開講座、オープンシアター、オープスタジオ、オープンインベーション、馬車道コンサート、修了制作展（各専攻）、映像鑑賞教育（「スクールシアター」小・中・高）、クリスマスアニメーションワークショップ（児童向け）、馬車道プロジェクション等 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
地域貢献・次世代育成事業実施事業数	単位	目標	22	21	19	20	20	20
	事業	実績	19	21				
地域貢献・次世代育成事業参加人数	単位	目標	5000	5000	5000	5000	5000	5000
	人	実績	4635	5667				
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	平成17年度 東京藝術大学大学院映像研究科の設置（旧富士銀行：馬車道校舎） 平成18年度 新港客船ターミナルに新港校舎を新設 平成20年度 万国橋会議センターに万国橋校舎を新設 平成27年度 新港校舎から元町中華街校舎（旧中区健診・予防接種センター）へ移転							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	映像文化都市づくり推進事業	18,519	23,317	▲ 4,798
②				0	
③				0	
④				0	
⑤				0	
	細事業合計	18,519	23,317	▲ 4,798	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	田中 昌史	丸山 由紀子	江口 浩平

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	創造都市推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
歳出予算科目	会計	4	款	1	項	2	目
事業名称	創造都市市民連携事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,000					2,000
補助事業 単独事業						0
令和3年度	4,000					4,000
増△減	△ 2,000	0	0	0	0	△ 2,000

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	6,666	6,666	5,400	2,000	2,000	2,000
	市債+一般財源	6,666	6,666	5,400	2,000	2,000	2,000
決算	事業費	6,666	6,666	3,376			
	市債+一般財源	6,666	6,666	3,376			

事業概要	日本最大規模のジャズフェスティバル「横浜JAZZ PROMENADE」の開催を支援し、まちの賑わいや来街者の回遊性を創造します。							
事業開始年度	平成5年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜 JAZZ PROMENADE事業補助金交付要綱（平成28年7月26日 文創推第232号）							
事業目的・効果 (必要性)	<p>「横浜JAZZ PROMENADE」は、1993年から実施している恒例行事であり、プロのミュージシャンによるホール会場での有料ライブに加え、周辺ジャズクラブでのライブ、さらにはアマチュアミュージシャンに演奏機会を提供するとともに、誰もが無料で楽しめる街角ライブによって構成されます。</p> <p>「街全体をステージに」をコンセプトに、「有料会場」だけではなく、クイーンズパークをはじめとした「開かれた場所」をステージに「街角ライブ」を展開することにより、まちの賑わいや来街者の回遊性の創出に寄与し、ジャズの街＝「横浜」をアピールすることによって、国内外に横浜の魅力を発信します。</p>							
根拠・データ等	<p>○横浜JAZZ PROMENADE2021概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：10/9（土）・10（日） ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定していた集客イベントを中止し、赤レンガ倉庫1号館でのプロのミュージシャンとジュニアビッグバンド、及びクロスストリート会場での街角ライブの無観客ライブを配信（無料）。なお、12のジャズクラブとの連携によるライブは実施。 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ステージ数	単位	目標	350	60	350	350	350	350
	ステージ	実績	0 (中止)	60				
来場者数	単位	目標	150000	4000	4000	150000	150000	150000
		実績	0 (中止)	3600				
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<p>平成5年度 第1回横浜JAZZ PROMENADE</p> <p>平成23年度 第16回ふるさとイベント大賞 選考委員特別賞受賞</p> <p>平成24年度 NISSAN PRESENTS JAZZ JAPAN AWARD ベスト・ライブ・パフォーマンス部門受賞</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	横浜JAZZ PROMENADE		2,000	4,000	▲ 2,000
②					0	
③					0	
④					0	
細事業合計			2,000	4,000	▲ 2,000	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	田中 昌史	丸山 由紀子	江口 浩平

令和 4年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	創造都市推進課	課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
歳出予算科目	会計	4	款	1	項	2	目
事業名称	創造都市推進事業費						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,038					1,038
補助事業 単独事業						0
令和3年度	1,221					1,221
増△減	△ 183	0	0	0	0	△ 183

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	5,548	1,542	1,276	1,038	1,038	1,038
	市債+一般財源	5,548	1,542	1,276	1,038	1,038	1,038
決算	事業費	1,590	1,845	712			
	市債+一般財源	1,590	1,845	712			

事業概要	創造都市推進課の円滑な事務運営を図るとともに、創造都市ネットワーク日本（CCNJ）の幹事団体の一つとして、幹事会、セミナー、ワークショップ、部会等を運営します。							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	創造都市ネットワーク日本 規約							
事業目的・効果 (必要性)	創造都市推進課の事務運営に必要な諸経費を執行することにより、各事業の円滑な執行が図られ、文化芸術創造都市・横浜の実現につながります。また、創造都市ネットワーク日本（CCNJ）において、参加団体が有する情報やノウハウを積極的に吸収するとともに、機を見て横浜の取組をPRします。CCNJ全体の運営や部会の運営を担うことにより、国内および世界の創造都市間の連携・交流が促進され、日本全体の創造的な復興・再生が進むことが期待されます。また、他市町村との交流などにより、本市の創造都市の取組が広く周知されることが期待されます。							
根拠・データ等	○創造都市ネットワーク日本（CCNJ）概要 創造都市や文化政策に携わる基礎自治体を基本的構成員とし、広域自治体、及び各地の経済団体、NPO、大学・教育機関等の団体・個人をもって構成し、国内及び世界の創造都市間の連携・交流を促進するためのプラットフォームとして平成25年1月13日に設立。令和2年3月末現在で116自治体・43団体が参加。							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	平成24年度 創造都市ネットワーク日本（CCNJ）設立 幹事会 年3回程度 創造都市政策セミナー 年1回 創造農村ワークショップ 年1回 総会 年1回							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	創造都市推進事業費	1,038	1,221	▲ 183
②				0	
③				0	
④				0	
⑤				0	
	細事業合計	1,038	1,221	▲ 183	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	田中 昌史	丸山 由紀子	江口 浩平

令和 4年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	5
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	2	目
事業名称	芸術文化教育プログラム推進事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	34,940					34,940
補助事業 単独事業						0
令和3年度	33,940					33,940
増△減	1,000	0	0	0	0	1,000

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	予算	34,940	34,940	34,940	34,940	34,940
市債+一般財源	34,940	34,940	34,940	34,940	34,940	34,940
決算	34,847	37,263	33,728			
市債+一般財源	34,847	37,263	33,728			

事業概要	アーティストが学校を訪問し、子どもたちに音楽、美術、演劇、ダンス、伝統芸能等を体験する機会を提供します。							
事業開始年度	平成16年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市芸術文化教育プラットフォームの運営に関する協定書 横浜市芸術文化支援実施要綱							
事業目的・効果 (必要性)	<p>[事業目的] 次世代を担う子どもたちに、芸術文化に触れ、創造活動を体験する機会を提供することで、文化の多様性に気づききっかけとすること及び表現力やコミュニケーション力等を育成することを目的とし、アーティストによる授業を学校で実施します。効果的なプログラムを実施するため、芸術文化教育プログラムを推進していく総合調整機関となる「芸術文化教育プラットフォーム」を運営します。</p> <p>[効果] 令和2年度実施校アンケート結果 児童・生徒向けアンケート：「また受けたい」95.7% 教員向けアンケート：「先生のねらいに照らして、今回のプログラムは満足できるものだった」99.2%</p>							
根拠・データ等	<p>[根拠] ・横浜市中期4か年計画2018～2021 「政策5 文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」 「主な施策(事業)5 文化芸術を通じた社会包摂と次世代育成」 ・横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方 「基本方針2 子どもたちをはじめとする次世代育成を進めます。」</p> <p>[データ] 市立小学校337校、中学校144校、義務教育学校2校、特別支援学校13校(令和3年度)</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実施校数 ※実績は、文化庁補助金等による実施分を含む	単位	目標	129	129	129	129	129	129
	校	実績	145	126				
実施回数 ※実績は、文化庁補助金等による実施分を含む	単位	目標	261	261	261	261	261	261
	回	実績	334	265				
事業スケジュール	<p>(目標は子どもオペラ教室(3校3回)も含む) 2月～ 翌年度のプログラムの実施について、学校に周知、申込受付 4～6月 当該年度のプログラムの実施校を決定 6～3月 プログラムの実施</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	芸術文化教育プログラム推進事業	32,440	32,440	0
②	市内文化団体による文化事業と連動したプログラムの提供	1,500	1,500	0	
③	国内トップレベルの舞台の観劇機会の提供	1,000	0	1,000	横浜公演再開による増
④				0	
⑤				0	
	細事業合計	34,940	33,940	1,000	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	鬼木 和浩	入江 淳一郎	長田 薫

令和 4年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	6
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
歳出予算科目	一般会計	4 款	1 項	2 目			
事業名称	地域文化サポート事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	33,000					33,000
補助事業 単独事業						0
令和3年度	30,000					30,000
増△減	3,000	0	0	0	0	3,000

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	30,000	30,000	30,000	33,000	33,000	33,000
市債+一般財源	30,000	30,000	30,000	33,000	33,000	33,000
決算	29,935	29,600	28,400			
市債+一般財源	29,935	29,600	28,400			

事業概要	地域課題の解決にアプローチするため、文化芸術の持つ創造性をコミュニティやまちの活性化と結びつける文化芸術活動や、横浜の個性ある文化芸術を市内外へ発信する活動を公募し、支援します。							
事業開始年度	平成25年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市地域文化サポート事業プラットフォームの運営に関する協定書							
事業目的・効果 (必要性)	<p>[事業目的] 助成金交付対象テーマを含む横浜市内で実施される文化芸術活動を広く公募し、助成金の交付等を通じて地域課題の解決にアプローチするための活動を支援します。また、意見交換を行う研修や、広報誌の発行、団体相互のネットワークづくりのための交流会などを実施し、採択団体等の運営のサポートを行います。認定NPO法人STスポット横浜、文化観光局文化振興課を事務局とするプラットフォームを構成し協働により運営を担い、全市政を対象とした文化振興支援に寄与します。</p> <p>【助成金交付対象テーマ】</p> <p>(1) アートフェスティバル アートを通じて地域資源の魅力を引き出し、開催地域内外のにぎわいを創出するもの。</p> <p>(2) コミュニティアート アートを通じて福祉・環境・街づくり・国際交流等における地域課題にアプローチするもの。</p> <p>(3) アートプロジェクト 横浜の歴史や自然、景観などに着目し、アートを通じて横浜の魅力を市内外へ発信するもの。</p> <p>[効果] 地域の課題に寄り添う市民、文化団体による主体的な活動を、規模の大小を問わず伴走型で支援しています。</p>							
根拠・データ等	<p>[根拠] ・横浜市中期4か年計画2018～2021 「政策5 文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」「主な施策(事業)3 市民の文化芸術活動の環境整備」 ・横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方 「基本方針1 市民の文化芸術活動を支援し、心豊かな市民生活の実現を目指します。」</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
採択事業数	単位	目標	32	25	25	30	30	30
	件	実績	29	28				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<p>3月～4月 助成事業募集 5月 助成対象事業決定 7月～1月 事業実施 3月 事業報告会開催</p> <p>季刊広報誌発行(3月、6月、9月、12月)、研修会開催(年4回)</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	地域文化サポート事業	33,000	30,000	3,000
②				0	
③				0	
④				0	
	細事業合計	33,000	30,000	3,000	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	鬼木 和浩	入江 淳一郎	長田 薫

令和 4年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	4 款	1 項	2 目		
事業名称	クラシック・ヨコハマ推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	9,000					9,000
補助事業 単独事業						0
令和3年度	8,200					8,200
増△減	800	0	0	0	0	800

歳出	平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	事業費	10,000	10,000	10,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
市債+一般財源	10,000	10,000	10,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	
決算	9,815	9,815	9,815	8,845	8,845	8,845	8,845	8,845	8,845	8,845	8,845	8,845	8,845	8,845	8,845	8,845	8,845	
市債+一般財源	9,815	9,815	9,815	8,845	8,845	8,845	8,845	8,845	8,845	8,845	8,845	8,845	8,845	8,845	8,845	8,845	8,845	

事業概要	全日本学生音楽コンクール全国大会における横浜市民賞（聴衆賞）選定の運営、過去の横浜市民賞授与者への市内サロンやミュージアムでのコンサート（アットホームコレクション）の開催							
事業開始年度	平成19年度							
根拠法令・方針決裁等								
事業目的・効果 (必要性)	<p>[事業目的] クラシック・ヨコハマは、全日本学生音楽コンクールを主催する毎日新聞社をパートナーとし、民間資金（事業）を活用したクラシック音楽振興と次世代育成、まちづくりを結びつけた事業です。全日本学生音楽コンクール全国大会（以下「全国大会」という。）の出身者等若手演奏家には演奏機会を提供し、市民には身近な場所で音楽を楽しめる機会を提供するため、全国大会を核として、身近にあるサロンやミュージアム、福祉施設等、市内各所でクラシックコンサートを実施します。全国大会では、市民の選定員が選ぶ聴衆賞「横浜市民賞」の授与を行います。また、本事業の認知度向上のため、引き続き民間の広報媒体と連携した広報を行います。</p> <p>[効果] 全日本学生音楽コンクールやクラシック・ヨコハマへの出演者が、国際コンクールなど内外で活躍しています。文化施設以外の場所でのコンサートにより、広く地域に浸透しています。</p>							
根拠・データ等	<p>[根拠] ・横浜市中期4か年計画2018～2021 「政策5 文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」 「主な施策(事業)5 文化芸術を通じた社会包摂と次世代育成」 ・横浜市民文化芸術創造都市施策の基本的な考え方 「基本方針2 子どもたちをはじめとする次世代育成を進めます。」</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
横浜市民賞 受賞者数	単位	目標	12	12	12	12	12	12
	人	実績	12	12				
コンサート数	単位	目標	40	30	30	30	40	40
	件数	実績	39	27				
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	6月:クラシック・ヨコハマ企画連携プラットフォーム会議開催 6月～10月:アットホーム・コレクション（サロン等身近な場所で開催するコンサートシリーズ）運営準備 8月:クラシック・ヨコハマ推進委員会開催 9月～10月:市民賞選定員募集 11月～1月:クラシック・ヨコハマ開催 11月下旬から12月上旬:全日本学生音楽コンクール全国大会（横浜市民賞決定） 2月:翌年度実施計画検討							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	クラシック・ヨコハマ推進事業	9,000	8,200	800
②				0	
③				0	
④				0	
	細事業合計	9,000	8,200	800	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	鬼木 和浩	入江 淳一郎	米山 知

令和 4年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費	<input checked="" type="checkbox"/> その他				
歳出予算科目	一般会計	4 款	1 項	2 目		
事業名称	ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	6,000					6,000
補助事業 単独事業						0
令和3年度	20,000					20,000
増△減	△ 14,000	0	0	0	0	△ 14,000

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	20,000	20,000	20,000	12,000	12,000	12,000
市債+一般財源	20,000	20,000	20,000	12,000	12,000	12,000
決算						
事業費	20,000	20,000	3,700			
市債+一般財源	20,000	20,000	3,700			

事業概要	6月下旬から7月中旬にかけて行われる国際教育音楽セミナー及びセミナー修了生によるアウトリーチ活動							
事業開始年度	平成21年度(平成27・28年度は文化芸術アクション事業で実施)							
根拠法令・方針決裁等	ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン事業補助金交付要綱							
事業目的・効果 (必要性)	<p>[事業目的] ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン (MMC J) は、世界的指揮者の大友直人氏とアラン・ギルバート氏により提唱されたもので、世界各国の若手の優秀な奏者が一堂に会し、約3週間にわたる合宿練習を民間主導で行う集中セミナーです。国際的な演奏家の次世代育成のため、引き続き横浜で開催するとともに、リハーサルを公開するほか、市民にセミナーの成果を披露するコンサートなどを行います。</p> <p>[効果] 人材育成の効果として、セミナー修了生が国際音楽コンクールに入賞しています。また、内外のプロオーケストラの中で活躍しています。市民還元としては、セミナー修了生による弦楽四重奏などの演奏会を多数実施しています。</p>							
根拠・データ等	<p>[根拠] ・横浜市中期4か年計画2018～2021 「政策5 文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」 「主な施策(事業)5 文化芸術を通じた社会包摂と次世代育成」 ・横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方 「基本方針2 子どもたちをはじめとする次世代育成を進めます。」</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
セミナー参加者数	単位	目標	21	21	16	16	21	21
	人	実績	21	0				
	単位	目標						
	回	実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<p>4月～6月：各種広報 6月下旬～7月上旬：ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン (MMC J) セミナー開催 セミナー受講生等によるコンサート実施 9月～1月：クラシック・ヨコハマをはじめとした市民向けコンサートの開催 1月～3月：翌年度実施計画の検討 時期未定：戸塚高校(※)特別指導 (※)市内で唯一音楽コースを有する高校</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン推進事業	6,000	20,000	▲ 14,000
②				0	
③				0	
④				0	
⑤				0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	鬼木 和浩	入江 淳一郎	米山 知

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	7
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	2	目
事業名称	芸術文化支援事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	57,900					57,900
補助事業 単独事業						0
令和3年度	127,900					127,900
増△減	△ 70,000	0	0	0	0	△ 70,000

歳出	平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計
予算	30,400	30,400	60,800	231,600	231,600	463,200	793,700	793,700	1,587,400	27,900	27,900	55,800	27,900	27,900	55,800	27,900	27,900	55,800
決算	28,400	28,400	56,800	229,080	229,080	458,160	645,651	645,651	1,291,302									

事業概要	市内に拠点を持つ文化芸術団体による市民の文化芸術活動の基盤を形成するための事業に対して、補助金の交付、後援・共催名義の付与、活動の場の提供、広報の支援を行います。								
事業開始年度	①地域の文化芸術活性化支援事業：令和4年度 ②ハマ展事業：昭和47年度 ③神奈川フィル事業：平成26年度 ④STスポット運営：昭和62年度 ⑤市民広間演奏会事業：平成13年度								
根拠法令・方針決裁等	②ハマ展事業補助金交付要綱 ③神奈川フィルハーモニー管弦楽団事業補助金交付要綱 ④STスポット運営補助金交付要綱 ⑤横浜市民広間演奏会事業補助金交付要綱								
事業目的・効果 (必要性)	<p>[事業目的] 美術、音楽、演劇等の芸術文化活動を行う団体に対して、横浜市が支援することにより、横浜市の芸術分野における文化の振興に寄与することを目的として開始しました。 市民が様々な文化芸術を鑑賞、体験、発表できる機会の充実を目指し、市内に拠点のある文化芸術団体が行う、横浜の文化振興の基盤を担う活動を支援している。補助金交付のみでなく、それぞれの団体や活動の状況に合わせて柔軟な支援を行っています。</p> <p>[効果] ①【臨時交付金】地域におけるリアルな文化芸術体験による次世代育成の機会を提供できるとともに、文化芸術に携わる方々に対しては、活動機会の提供及び活動による収入の回復が見込めます。また、公演等の企画、開催により区民文化センター等における人材育成を図り、地域における文化芸術活性化の持続的な取組につなげます。 ②ハマ展事業補助：市内の作家や一般の美術愛好者に広く発表の機会を提供するとともに、市民にとって身近な美術鑑賞の場となっています。 ③神奈川フィルハーモニー管弦楽団事業補助：音楽専門誌での人気が高まるなど、近年演奏技術が向上しており、充実した音楽を提供できています。学校へのアウトリーチでも好評を得ています。 ④STスポット運営補助：若手の劇団やダンスカンパニーにとって、市内で貴重なスタートアップの場になっています。 ⑤横浜市民広間演奏会事業補助：市庁舎など市民の身近な場所で、質の高い音楽の鑑賞機会を提供しています。</p>								
根拠・データ等	<p>[根拠]・横浜市中期4か年計画2018～2021 「政策5 文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」「主な施策(事業)3 市民の文化芸術活動の環境整備」 ・横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方 「基本方針1 市民の文化芸術活動を支援し、心豊かな市民生活の実現を目指します。」</p>								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
ハマ展 来場者数	単位	目標	20,000	15,000	15,000	15,000	20,000	20,000	20,000
	人	実績	23,938	16,148					
神奈川フィル及び市民 広間演奏会の補助 対象演奏会数(うち市民 広間演奏会分)	単位	目標	55 (40)	55 (40)	55 (40)	55 (40)	55 (40)	55 (40)	55 (40)
	回	実績	57 (43)	42 (37)					
STスポット 利用団体数	単位	目標	30	15	15	15	30	30	30
	数	実績	30	19					
事業スケジュール	4月～翌3月 事業の円滑な実行								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	地域の文化芸術活性化支援事業	30,000	0	30,000
②	ハマ展事業補助	1,000	1,000	0	
③	神奈川フィルハーモニー管弦楽団事業補助	18,000	18,000	0	
④	STスポット運営補助	6,100	6,100	0	
⑤	横浜市民広間演奏会事業補助	2,800	2,800	0	
⑥	文化芸術公演等支援事業	0	100,000	▲ 100,000	事業終了による減
⑦				0	
	細事業合計	57,900	127,900	▲ 70,000	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	鬼木 和浩	入江 淳一郎	米山 知

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	8
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	4 款	1 項	2 目		
事業名称	フランス映画祭支援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	25,000					25,000
補助事業 単独事業						0
令和3年度	30,000					30,000
増△減	△ 5,000	0	0	0	0	△ 5,000

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	市債+一般財源	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
決算	事業費	23,701	26,099	24,374			
	市債+一般財源	23,701	26,099	24,374			

事業概要	「横浜フランス月間」と連携したフランス映画祭の開催支援 日本未公開のフランス映画最新作上映のほか、市民交流・次世代育成事業の実施							
事業開始年度	平成30年度							
根拠法令・方針決裁等								
事業目的・効果 (必要性)	<p>【事業目的】 国内でも注目度の高い催しであり、街の賑わいづくり及び横浜市とフランスの友好関係を強固なものとするを目的とするほか、文化芸術創造都市としての横浜のプレゼンス向上を期待できます。</p> <p>【効果】 フランス映画祭は1993（H5）年の初開催から2005（H17）年まで、13年にわたり横浜で開催されていた映画祭で、2006（H18）年以降は会場を他都市に移していたが、日仏交流160周年を機に、2018（H30）年から、再び横浜で開催しています。 この映画祭の特徴として、日本未公開のフランス映画最新作上映のほか、来日アーティスト団との距離が近く、市民が身近にフランス文化を体感出来ることや国際的に活躍するフランス人映画監督らによる市内大学へのアウトリーチ等が挙げられます。 共催者としてこの映画祭の開催を支援することは、文化芸術創造都市横浜のプレゼンス向上、横浜とフランスの友好及び市民交流・次世代育成に寄与しています。</p>							
根拠・データ等	<p>[根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜市中期4か年計画2018～2021 「政策5 文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」 「主な施策(事業)4 横浜らしい特色のある文化芸術の国内外の発信」 「主な施策(事業)5 文化芸術を通じた社会包摂と次世代育成」 横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方 「基本方針2 子どもたちをはじめとする次世代育成を進めます。」 「基本方針4 賑わいづくり・観光MICE振興にもつながる、横浜らしい先進的な文化芸術を国内外に発信します。」 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
総入場者数 (オンライン参加者込)	単位	目標	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300
	人	実績	12,028	4,069				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	開催期間：調整中							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	フランス映画祭支援事業	25,000	30,000	▲ 5,000
②				0	
③				0	
④				0	
	細事業合計	25,000	30,000	▲ 5,000	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	鬼木 和浩	碓 富士子	新井 康浩

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	9
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	4 款	1 項	2 目		
事業名称	文化施設運営事業					

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	使用料	その他	市債	一般財源
令和4年度	3,746,073	3,698		2,729	9,114	410,000	3,320,532
補助事業	81,321	3,698				77,000	623
単独事業	3,664,752			2,729	9,114	333,000	3,319,909
令和3年度	2,994,495	15,693		2,729	11,114	101,000	2,863,959
増△減	751,578	△ 11,995	0	0	△ 2,000	309,000	456,573

歳出	平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計
事業費	2,964,689		2,964,689	3,140,842		3,140,842	3,397,208		3,397,208	3,040,636		3,040,636	3,040,636		3,040,636	3,040,636		3,040,636
市債+一般財源	2,923,305		2,923,305	3,102,002		3,102,002	3,377,927		3,377,927	3,024,127		3,024,127	3,024,127		3,024,127	3,024,127		3,024,127
事業費	2,932,765		2,932,765	3,029,796		3,029,796	3,242,160		3,242,160									
市債+一般財源	2,891,076		2,891,076	3,003,473		3,003,473	3,224,057		3,224,057									

事業概要	文化振興課所管の文化施設の運営・管理を行うとともに各区所管の区民文化センターの天井脱落対策や修繕等及び市民利用施設予約システムの開発・運営を行います。 対象施設：文化振興課所管の15施設と各区所管の区民文化センター11施設							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	地方自治法、各施設条例・施行規則等							
事業目的・効果 (必要性)	<p>[事業目的] コロナ禍においても市民の皆様の文化活動を継続し、文化芸術に親しむことができるよう、感染症対策を徹底し、施設運営を行います。また、老朽化等対応の修繕を実施することで、市民の皆様の安全・安心な利用に寄与します。 平成27年3月に策定された「横浜市公共建築物天井脱落対策事業計画」に基づき、区民文化センター（鶴見・青葉・戸塚）で天井脱落対策工事を行い、横浜能楽堂では天井脱落対策を含む大規模改修の実施設計を行うことで、安全な施設を保持します。</p> <p>[効果] 施設の安定的な管理運営を行うことで、文化芸術活動の拠点として、市民の皆様の文化活動を支えています。文化は、人と人との絆を育む源泉となるとともに、多くの人々を引き付ける魅力を都市に与えます。また、文化活動により様々な地域課題にアプローチすることで、多様なコミュニティが形成され、横浜が市民の皆様にとって住み続けたい街となることにもつながっています。</p>							
根拠・データ等	<p>[根拠] ・地方自治法、各施設条例・施行規則等 ・横浜市中期4か年計画2018～2021 「政策5 文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」「主な施策(事業)3 市民の文化芸術活動の環境整備」 ・横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方 「基本方針1 市民の文化芸術活動を支援し、心豊かな市民生活の実現を目指します。」 「基本方針4 賑わいづくり・観光MICE振興にもつながる、横浜らしい先進的な文化芸術を国内外に発信します」</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
文化施設 利用者数	単位	目標	—	—	—	—	—	—
	千人	実績	3,809	1,078				
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	文化施設運営費等	2,597,741	2,586,315	11,426	横浜みなとみらいホールの再開館による増
②	市民利用施設予約システム運営費	37,000	37,446	▲ 446	瀬谷区文端末設置終了による減	
③	次期予約システム開発事業	32,308	5,300	27,008	システム設計実施による増	
④	文化施設修繕費等	116,000	116,000	0		
⑤	横浜みなとみらいホール共有部分修繕負担金	28,000	20,000	8,000	対象案件増のため	
⑥	天井脱落対策工事	807,393	151,131	656,262	工事着手による増	
⑦	横浜能楽堂大規模改修工事	81,321	37,398	43,923	実施設計実施による増	
⑧	区民文化センター複合施設修繕負担金	46,310	40,905	5,405	対象案件増のため	
⑨				0		
	細事業合計		3,746,073	2,994,495	751,578	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	檜崎 和雄	河合 康子	山崎 みそら

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	10
事業区分	■ 施設等整備費 <input type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	4 款	1 項	2 目		
事業名称	横浜美術館大規模改修事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	6,295,301				4,547,000	1,748,301
補助事業 単独事業						0
令和3年度	840,108				430,000	410,108
増△減	5,455,193	0	0	0	4,117,000	1,338,193

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算 事業費	70,000	306,754	258,190
市債+一般財源	70,000	306,754	258,190
決算 事業費	72,328	323,240	259,937
市債+一般財源	72,328	323,240	259,937

令和5年度	令和6年度	令和7年度
		-
		-

事業概要	横浜の文化観光拠点である横浜美術館の改修工事を行い、施設の長寿命化を図るとともに、横浜の文化観光施策を促進を図ります。								
事業開始年度	平成29年度								
根拠法令・方針決裁等	横浜美術館条例								
事業目的・効果 (必要性)	<p>[事業目的] 横浜美術館は、平成30年でしゅん工から30年となり、美術作品を展示、保存するために重要な空調設備をはじめ、電気や衛生設備等の設備機器が経年劣化しているため、これらの設備機器の更新等を行うことにより長寿命化を図ります。また、バリアフリー対応等を行うとともに、収蔵庫の拡張を行います。 平成29年度の横浜美術館大規模改修事業基本計画、平成30年度の基本設計、令和元年度からの実施設計を経て、令和2年度より休館し、令和3～4年度は、工事を行います。 また、工事に伴い事務所を移転するとともに、収蔵作品の移転等を行います。</p> <p>[効果] 大規模改修により、これまでに積み重ねてきた専門性や教育普及事業等を継承していくことに加えて、障害者や外国籍の方も含め、あらゆる人に開かれ、新しい価値を創造・発信し続ける魅力的な美術館になることが期待できます。</p> <p>【令和4年度の事業費の内訳】 工事費 千円 工事管理費 千円 (工事の監理業務を委託) 事務費 千円 (建築局への事務費) 作品移転費等 千円 (美術作品・美術図書等の保管、事務所費等)</p>								
根拠・データ等	<p>【根拠】 ・横浜市中期4か年計画2018～2021 「政策5 文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」 「主な施策(事業)3 市民の文化芸術活動の環境整備」</p> <p>【令和3年度の事業費の内訳】 工事費 千円 工事管理費 千円 (工事の監理業務を委託) 事務費 千円 (建築局への事務費) 作品移転費等 千円 (美術作品・美術図書等の輸送・保管、事務所費等)</p>								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
大規模改修事業の実施	単位	目標	実施設計① 移転調査等	実施設計② 作品移転等	工事 作品移転・保管 等	工事 作品保管等	工事 作品保管等	作品保管・ 移転等	-
	-	実績	実施	実施					
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度：基本計画 平成30年度：基本設計 令和元年度：実施設計その1、移転調査等 令和2年度：実施設計その2、作品移転保管等 令和3年度：工事、作品保管 令和4年度：工事、作品保管 令和5年度：工事、作品移転等 令和6年度：作品移転等 								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	横浜美術館大規模改修事業	6,295,301	840,108	5,455,193	工事費の増による増
	②				0	
細事業合計		6,295,301	840,108	5,455,193		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	新谷 雄一	中村 政人	佐々木 卓也

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	11
事業区分	■ 施設等整備費		□ その他				
歳出予算科目	一般会計	4 款	1 項	2 目			
事業名称	横浜みなとみらいホール大規模改修事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	3,266,391	12,612	39,737		2,495,000	719,042
補助事業	880,426	12,612			863,000	4,814
単独事業	2,385,965		39,737		1,632,000	714,228
令和3年度	3,847,551	14,190			3,717,000	116,361
増△減	△ 581,160	△ 1,578	39,737	0	△ 1,222,000	602,681

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	50,000	98,568	102,361	—	—	—
	市債+一般財源	45,097	91,480	90,934	—	—	—
決算	事業費	52,650	113,491	96,128			
	市債+一般財源	49,176	106,403	85,841			

事業概要	横浜みなとみらいホールは、「横浜市公共建築物天井脱落対策事業計画」に基づき令和4年度までに天井脱落対策工事が必要な施設です。令和3年1月から令和4年10月頃まで全館休館として工事を行っています。また、令和4年11月のリニューアルオープンに向け、事務所の移転作業や開館準備を行います。						
事業開始年度	平成30年度						
根拠法令・方針決裁等	横浜みなとみらいホール条例						

事業目的・効果 (必要性)	<p>[事業目的]</p> <p>横浜みなとみらいホールは、年間約50万人の方に利用され、稼働率が非常に高く、主要公演の調整は約3年前から開始される等、長期休館が非常に困難な施設です。竣工から25年が経過していますが、老朽化した設備等が更新できておりません。そのため、天井脱落対策工事と併せて、長寿命化対策やバリアフリー対応、パイプオルガンのオーバーホール等を効果的かつ効率的に実施し、安全な施設運営に寄与します。</p> <p>[効果]</p> <p>日本を代表するコンサートホールとして安定した施設運営を行うことで、市民の皆様が多様な音楽を楽しむ機会を提供し、市民の皆様が音楽活動を支え、音楽専門ホールとして活動の場を提供します。</p> <p>[参考：令和4年度事業費の内訳] 3,266,391千円</p> <table border="0" style="width:100%;"> <tr><td>天井脱落対策費(工事費・監理費)</td><td>880,426千円</td></tr> <tr><td>長寿命化等対策費(工事費・監理費)</td><td>2,176,139千円</td></tr> <tr><td>パイプオルガンオーバーホール費用等</td><td>千円</td></tr> <tr><td>ピアノ保管・移転費用</td><td>千円</td></tr> <tr><td>初度調弁費</td><td>千円</td></tr> <tr><td>事務所移転費・使用経費等</td><td>千円</td></tr> <tr><td>駐車場借上げ代等</td><td>千円</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>1,241千円</td></tr> </table>							天井脱落対策費(工事費・監理費)	880,426千円	長寿命化等対策費(工事費・監理費)	2,176,139千円	パイプオルガンオーバーホール費用等	千円	ピアノ保管・移転費用	千円	初度調弁費	千円	事務所移転費・使用経費等	千円	駐車場借上げ代等	千円	事務費	1,241千円
	天井脱落対策費(工事費・監理費)	880,426千円																					
長寿命化等対策費(工事費・監理費)	2,176,139千円																						
パイプオルガンオーバーホール費用等	千円																						
ピアノ保管・移転費用	千円																						
初度調弁費	千円																						
事務所移転費・使用経費等	千円																						
駐車場借上げ代等	千円																						
事務費	1,241千円																						
根拠・データ等	<p>[根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜市中期4か年計画2018～2021 「政策5 文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」 「主な施策(事業)3 市民の文化芸術活動の環境整備」 横浜市公共建築物天井脱落対策事業計画 <p>[参考：令和3年度事業費の内訳] 3,847,551千円</p> <table border="0" style="width:100%;"> <tr><td>天井脱落対策費(工事費・監理費)</td><td>919,458千円</td></tr> <tr><td>長寿命化等対策費(工事費・監理費)</td><td>2,813,557千円</td></tr> <tr><td>フルコンサートピアノオーバーホール費用等</td><td>千円</td></tr> <tr><td>ピアノ保管・移転費用</td><td>千円</td></tr> <tr><td>事務所移転費・使用経費等</td><td>千円</td></tr> <tr><td>駐車場借上げ代等</td><td>千円</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>2,616千円</td></tr> </table>							天井脱落対策費(工事費・監理費)	919,458千円	長寿命化等対策費(工事費・監理費)	2,813,557千円	フルコンサートピアノオーバーホール費用等	千円	ピアノ保管・移転費用	千円	事務所移転費・使用経費等	千円	駐車場借上げ代等	千円	事務費	2,616千円		
天井脱落対策費(工事費・監理費)	919,458千円																						
長寿命化等対策費(工事費・監理費)	2,813,557千円																						
フルコンサートピアノオーバーホール費用等	千円																						
ピアノ保管・移転費用	千円																						
事務所移転費・使用経費等	千円																						
駐車場借上げ代等	千円																						
事務費	2,616千円																						

事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
大規模改修	単位	目標	実施設計	工事発注・工事	工事	工事・リニューアルオープン	—	—
		実績	実施	実施				

事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度：基本設計 令和元年度：実施設計 令和2年度：工事発注・工事、事務所移転 令和3年度：工事、仮事務所にて事務所運営 令和4年度：工事、事務所移転、リニューアルオープン 						
----------	---	--	--	--	--	--	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	横浜みなとみらいホール大規模改修事業(天井脱落対策)	880,426	919,458	▲ 39,032
②	横浜みなとみらいホール大規模改修事業(長寿命化等その他移転費)	2,385,965	2,928,093	▲ 542,128	工事実施にかかる費用減
③				0	
細事業合計		3,266,391	3,847,551	▲ 581,160	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	榑崎 和雄	河合 康子	山崎 みそら

令和 4年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	12
事業区分	■ 施設等整備費 <input type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	4 款	1 項	2 目		
事業名称	文化施設整備事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,502,923	172,000			1,322,000	8,923
補助事業 単独事業						0
令和3年度	1,710,753	667,173			999,000	44,580
増△減	△ 207,830	△ 495,173	0	0	323,000	△ 35,657

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費	757,200	203,081	2,778,972
市債+一般財源	698,000	△ 5,571,400	1,668,172
決算	728,347	204,402	2,553,942
市債+一般財源	661,747	△ 5,558,779	1,656,342

令和5年度	令和6年度	令和7年度
533,598	4,540,000	850,000
533,598	4,540,000	850,000

事業概要	市民の主体的、創造的な文化芸術活動の身近な拠点となる区民文化センターを各区の特性に応じて整備を進めます。							
事業開始年度	昭和61年度							
根拠法令・方針決裁等								
事業目的・効果 (必要性)	<p>[事業目的] 地域に根差した個性ある文化の創造に寄与するため、文化活動の場や機会の提供を行うとともに、区全域での文化活動に関する支援機能や、ネットワーク形成を牽引する機能を担う地域の文化拠点として区民文化センターを整備します。 整備に当たっては、未整備区を対象として検討を進め、再開発等のまちづくりの機会などを捉え、区内の文化施設や公会堂等の公共施設の機能を踏まえながら、区の特性に合わせて必要な機能を整備します。</p> <p>[効果] 市民の文化活動のための場の提供や身近な場所で文化芸術に触れる機会の提供を通じ、地域の文化活動の振興や発展に寄与するとともに、文化芸術の創造性をいかしてコミュニティを活性化し、教育、福祉、子育て、環境など様々な地域課題の課題解決に取り組む活動の支援につなげます。</p>							
根拠・データ等	<p>[根拠] ・横浜市区民文化センター条例、横浜市区民文化センター条例施行規則 ・横浜市中期4か年計画2018～2021 「政策5 文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出/主な施策3 市民の文化芸術活動の環境整備」 ・横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方(平成24年12月) 基本方針1 市民の文化芸術活動を支援し、心豊かな市民生活実現を目指します。 基本方針2 子どもたちをはじめとする次世代育成を進めます。</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
都筑区民文化センター	単位	目標	事業用地売買契約締結	事業調整・協議基本設計	基本・実施設計	工事・不動産鑑定評価・取得契約	工事・指定管理者指定	竣工・開館
	進捗	実績	事業用地売買契約締結	事業調整・協議基本設計				
港北区民文化センター	単位	目標	内装実施設計 不動産鑑定	保留床売買契約 取得費の一部支払	取得費の一部支払い	取得費の一部支払い	支払い完了 開館	
	進捗	実績	内装実施設計 不動産鑑定	保留床売買契約 取得費の一部支払				
金沢区民文化センター	単位	目標		基礎調査	基礎調査	基本構想策定	基本設計	実施設計
	進捗	実績		基礎調査				着工
事業スケジュール								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	瀬谷区民文化センター整備事業	0	956,971	▲ 956,971
②	都筑区民文化センター整備事業	5,000	3,000	2,000	事業費の増による増
③	港北区民文化センター整備事業	1,494,923	749,782	745,141	事業費の増による増
④	金沢区民文化センター整備事業	3,000	1,000	2,000	事業費の増による増
⑤				0	
⑥				0	
	細事業合計	1,502,923	1,710,753	▲ 207,830	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	新谷雄一	中村政人	佐々木卓也

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	4 款	1 項	2 目		
事業名称	横浜文化賞事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	4,179					4,179
補助事業 単独事業						0
令和3年度	4,613					4,613
増△減	△ 434	0	0	0	0	△ 434

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	5,135	5,135	4,613	4,613	4,613	4,613
	市債+一般財源	5,135	5,135	4,613	4,613	4,613	4,613
決算	事業費	5,616	5,932	5,075			
	市債+一般財源	5,616	5,932	5,075			

事業概要	横浜市の芸術、学術、教育、社会福祉、医療、産業、スポーツ振興等の文化の発展に尽力し、その功績が顕著な方々を顕彰します。	
事業開始年度	昭和27年度	
根拠法令・方針決裁等	横浜市附属機関設置条例 横浜文化賞実施要綱 横浜文化賞選考委員会運営要綱	

事業目的・効果 (必要性)	<p>【事業目的】 横浜市の芸術、学術、教育、社会福祉、医療、産業、スポーツ振興等の文化の発展に尽力し、その功績が顕著な方々を顕彰することにより、横浜市の文化の向上及び発展に寄与することを目的としています。</p> <p>【効果】 市民と一緒に受賞者をお祝いする贈呈式を開催することで、本市の文化の向上及び発展に対する永年の功に報いることができるほか、全国又は国際的に活躍している方を顕彰することで、シビックプライドの醸成にも寄与しています。 一方、文化芸術分野で現在活躍中の若年層又は中堅層で、さらに今後の活躍が特に期待される方に文化芸術・奨励賞を贈呈することで、横浜市の次代の文化芸術を担うアーティストの支援やその後の国内外での活躍に繋がっています。</p>
------------------	---

根拠・データ等	<p>【根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜市中期4か年計画2018～2021 「政策5 文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」 「主な施策(事業)5 文化芸術を通じた社会包摂と次世代育成」 横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方 「基本方針1 市民の文化芸術活動を支援し、心豊かな市民生活の実現を目指します。」 「基本方針2 子どもたちをはじめとする次世代育成を進めます。」
---------	--

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
受賞者数	単位	目標	7	7	7	7	7	7	7
	人・団体	実績	7	7					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	3月 候補者の推薦依頼 8月 横浜文化賞選考委員会の開催 11月 贈呈式の開催
----------	---

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	横浜文化賞事業	4,179	4,613	▲ 434	記念コンサート見直しによる減
②					0	
③					0	
④					0	
細事業合計			4,179	4,613	▲ 434	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	鬼木 和浩	碓 富士子	新井 康浩

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	4 款	1 項	2 目		
事業名称	美術資料収集事業（文化基金）					

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	寄付金	財産収入	市債	一般財源
令和4年度	5,030			5,000	30		0
補助事業 単独事業							0
令和3年度	5,030			5,000	30		0
増△減	0	0	0	0	0	0	0

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算 事業費	9,280	9,280	5,030
市債+一般財源	4,250	4,250	0
決算 事業費	5,037	4,878	1,280
市債+一般財源	4,272	4,278	0

令和5年度	令和6年度	令和7年度
15,030	15,030	15,030
10,000	10,000	10,000

事業概要	横浜市文化基金は、横浜美術館に収蔵する美術資料の収集及び文化施設の建設に資することを目的に、昭和56年に設置しました。1年に1回程度、美術資料収集審査委員会を開催し、横浜市美術資料収集方針に合う資料を購入します。							
事業開始年度	昭和56年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市文化基金条例 横浜市文化基金条例施行規則 横浜市美術資料収集審査委員会運営要綱 横浜市美術資料収集方針							
事業目的・効果 (必要性)	<p>[事業目的] 横浜市文化基金は、横浜美術館に収蔵する美術資料の収集及び文化施設の建設に資することを目的に、昭和56年に設置しました。1年に1回程度、美術資料収集審査委員会を開催し、横浜市美術資料収集方針に合う資料を購入するため、一般財源や寄附金等による基金の積み立てを行います。</p> <p>[効果] 美術館の魅力を高め、市民に愛される作品を購入することにより、施設の集客力に加え、みなとみらい地区の回遊性を高め、地域経済の活性化に寄与します。</p>							
根拠・データ等	<p>[根拠] 横浜市文化基金条例（昭和56年3月31日横浜市条例第15号） 同 施行規則（昭和57年3月5日規則第11号） 横浜市美術資料収集審査委員会運営要綱（平成24年3月28日制定） 横浜市美術資料収集方針 〈横浜市文化基金条例〉 第1条 横浜市民の文化活動の場としての総合的機能を備えた美術館その他の文化施設の建設及び美術館に収蔵する美術品等の収集に資するため、横浜市文化基金(以下「基金」という。)を設置する。</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
購入作品数	単位	目標	2	2	2	2	2	2
	点	実績	1.0	0.0				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	10月 横浜市美術資料収集内部検討委員会 12月 横浜市美術資料収集審査委員会 1月 収集手続き							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	美術資料収集事業	5,030	5,030	0
②				0	
③				0	
④				0	
⑤				0	
	細事業合計	5,030	5,030	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	檜崎 和雄	頼政 佳緒里	法月 裕

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
歳出予算科目	一般会計	4 款	1 項	2 目			
事業名称	地域創造助成事業費						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,000			1,000		0
補助事業 単独事業						0
令和3年度	1,000			1,000		0
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算	事業費	1,000	1,000	1,000
	市債+一般財源	0	0	0
決算	事業費	0	0	0
	市債+一般財源	0	0	0

令和5年度	令和6年度	令和7年度
1,000	1,000	1,000
0	0	0

事業概要	地域の文化・芸術活動を助成する事業							
事業開始年度	平成7年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市補助金等の交付に関する規則 横浜市地域の文化・芸術活動支援事業補助金交付要綱							
事業目的・効果 (必要性)	<p>[事業目的] 「文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくり」を目的として、全国の地方団体等の出捐を基に平成6年に自自治省（現総務省）によって（一財）地域創造が設立されました（平成26年に一般財団法人に移行）。地域創造助成事業は（一財）地域創造が実施する「地域の文化・芸術活動助成事業」に企業等の一般指定管理者の申請した事業が採択された際、地方公共団体を通じ助成する事業です。</p> <p>[効果] 市内文化施設にとって、外部資金獲得の貴重な機会となっています。</p>							
根拠・データ等	<p>[根拠] ・横浜市中期4か年計画2018～2021 「政策5 文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」「主な施策(事業)3 市民の文化芸術活動の環境整備」 ・横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方 「基本方針1 市民の文化芸術活動を支援し、心豊かな市民生活の実現を目指します。」</p> <p>[データ] <助成額実績> 平成28年度0円、平成29年度0円、平成30年度0円</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
助成額	単位	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	千円	実績	0	0				
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	令和4年4月以降 助成対象事業決定 同上 助成対象事業実施 同上 事業実績報告提出後、助成額確定							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	地域創造助成事業費	1,000	1,000	0
②				0	
③				0	
④				0	
⑤				0	
	細事業合計	1,000	1,000	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	鬼木 和浩	入江 淳一郎	米山 知

令和 4年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	2	目
事業名称	指定管理者制度運営費						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,473					2,473
補助事業 単独事業						0
令和3年度	4,751					4,751
増△減	△ 2,278	0	0	0	0	△ 2,278

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	4,782	2,977	4,751	2,473	2,473	2,473
	市債+一般財源	4,782	2,977	4,751	2,473	2,473	2,473
決算	事業費	2,790	1,894	1,649			
	市債+一般財源	2,790	1,894	1,649			

事業概要	文化施設各館において、指定管理者の公募・選定単位で指定管理者選定評価委員会を設置し、外部委員による次期指定管理者の公募・選定及び評価を行うとともに、指定管理者の運営状況を把握することにより、本市における文化芸術活動の振興に寄与します。							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	地方自治法、文化施設各館の設置条例・規則							
事業目的・効果 (必要性)	<p>[事業目的] 地方自治法第244条の2第10項において、「指定管理者の管理する公の施設の管理の適正を期するため、指定管理者に対して、当該管理の業務又は経理の状況に関し報告を求め、実地について調査し、又は必要な指示をすることができる。」と規定されています。指定管理者制度は、選定時に要求する業務の基準を示し、業務の結果、基準が達成されているかどうかを事後に確認することが制度の要となります。</p> <p>そのため、本市指定管理者制度運用ガイドラインに基づき、文化施設各館の指定管理者に対し、施設運営業務の状態を把握するためモニタリングを実施するとともに、指定管理者が提出する「業務計画書」、「業務報告書」、「自己評価報告書」を元に外部委員による評価を行います。また、次期指定管理者の公募・選定を行います。</p> <p>[効果] 文化施設各館の指定管理者選定評価委員会を通じて、指定管理者の運営状況の評価及び次期指定管理者の選定を適切に行うことにより、各館の設置目的をより効果的かつ効率的に達成し、本市における文化芸術活動の振興に寄与するとともに、住民サービスをより一層、向上させます。</p>							
根拠・データ等	[根拠] 横浜市指定管理者制度運用ガイドライン							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
委員会 会議数	単位	目標	31	60	60	30		
	回	実績	25	22				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	指定管理者制度運営費	2,473	4,751	▲ 2,278	会議数の減
②					0	
③					0	
	細事業合計		2,473	4,751	▲ 2,278	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	檜崎 和雄	頼政 佳緒里	島 和稔

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	4 款	1 項	2 目		
事業名称	文化振興企画調査費					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,379					2,379
補助事業 単独事業						0
令和3年度	2,800					2,800
増△減	△ 421	0	0	0	0	△ 421

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	5,043	4,963	3,500	2,379	2,379	2,379
	市債+一般財源	5,043	4,963	3,500	2,379	2,379	2,379
決算	事業費	3,479	2,829	1,445			
	市債+一般財源	3,479	2,829	1,445			

事業概要	横浜美術館収蔵作品の収集のための美術資料収集審査委員会及び価額評価委員会の運営をするほか、文化行政推進のための一般的事務費を執行します。						
事業開始年度	昭和63年度						
根拠法令・方針決裁等	横浜市附属機関条例 横浜市美術資料収集審査委員会運営要綱						

事業目的・効果 (必要性)	<p>(1) 横浜美術館収蔵作品の収集のための美術資料収集審査委員会・価額評価委員会の運営</p> <p>①横浜市美術資料収集審査委員会 「横浜市美術資料収集審査委員会運営要綱」に基づき、内部検討委員会より提示された収集候補作品について、学識経験を有する者及び専門家からなる委員会において「横浜市美術資料収集方針」(※1)への適合性、芸術性及び真贋性の審査を行います。</p> <p>②横浜市美術資料価額評価委員会 同要綱に基づき、横浜市が美術作品を購入する際、購入しようとする美術資料の価額を決定します。</p> <p>※1：横浜市美術資料収集方針：近代及び現代美術の流れが展望できる内外のすぐれた美術資料を体系的に収集する。</p> <p>1 西洋文化の流入窓口であった横浜開港当時からヨーロッパ近代美術と日本近代美術の相互影響の足跡がたどれる作品</p> <p>2 (1) 現代美術の展開と流れの眺観に役立つ作品 (2) 今日の美術が内包する問題点を明確に表している作品 (3) 近代美術の一分野としての写真の代表作品 (4) 現代の市民生活に密着した分野(デザイン、工芸、建築及びビデオ)の代表作品</p> <p>3 横浜ゆかりの代表的作家の作品 岡倉天心との関係を含めて、原三溪に庇護された、日本近代美術の発展に寄与した作家の作品</p> <p>4 第1項から第3項に関連する資料</p> <p>(2) 文化行政推進のための一般的事務費</p>						
根拠・データ等	横浜市附属機関条例、横浜市美術資料収集審査委員会運営要綱						

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
委員会開催数	単位	目標	2	2	2	2	2	2	2
	回	実績	1.0	1.0					
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	10月 横浜市美術資料収集内部検討委員会 12月 横浜市美術資料収集審査委員会 1月 収集手続き
----------	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	美術資料収集委員会	770	772	▲ 2
②	一般事務費	1,609	2,028	▲ 419	事務費の見直しによる減
③				0	
④				0	
	細事業合計	2,379	2,800	▲ 421	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	鬼木 和浩	碓 富士子	廣田 玲央